

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すまいる・ステップ			
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2025年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 6 名	(回答者数)	2 3 名
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2025年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 名	(回答者数)	6 名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	PECS(絵カード交換式コミュニケーションシステム)を導入しました。発語がゆっくりな児童が、自分から発信できるコミュニケーション方法として、とても有効なツールです。	事業所内研修を行い、職員全員がPECSの意義や導入方法を理解して行えるようにしました。現在必要とする児童の保護者への周知と子供たちへの導入方法や強化子を見つけ、意欲的に機会の拡大を行っています。	トレーニングマニュアルを熟読し、様々な場面に対応できるようにしていきます。また職場内でミニ研修会を開催して、様々な場面での対応方法をお互いに共有したり、疑問点を話し合い理解を深めていきます。
2	個別の視覚支援が充実しています。	必要な児童に、個別の視覚支援ボードを用意。①1日の流れをわかりやすく絵を入れて表示②週に1度利用の児童には、1カ月の活動内容を個別に用意して、次回の活動がわかるように表示③1週間の見通しが欲しい児童には、1週間の予定表を用意④個別課題をする児童には、課題の視覚ボードを用意。一人で取り組めるようにしています。	児童の姿をよく観察して、必要な視覚支援ツールを今後も用意していきます。
3	余暇支援の中が広く、色々と準備されています。	余暇時間が長い児童のために、スライム、ぬりえ、絵の具遊び、小豆遊び、ハンモック等の運動遊具、色々な玩具や音楽等、好きなあそびができる物が多く用意されています。また、遊びが見つからない児童に関して、職員間で話し合いながら色々と試して好きなあそびを見つけることを大切にしています。	児童の姿をよく観察し、好きなことの中が広がるような遊びを見つけて試してみます。
4	特別支援学校や家庭との連携がしっかりと取れているため、保護者の満足度が高いです。	個別面談や日々の保護者からの要望を丁寧に聞き取り職員間で共有。日頃の保育の中で手立てを実践し、アセスメントを行った上で保護者にステップでの手立てをお伝えするようにしています。また、課題について学校の担任の先生に学校での様子や取り組み方法を聞き、連携して手立てを実践しています。	支援級の担任との連携を強めていきたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルを策定し研修会も行っているが、フローチャートに則した実践練習が足りないと感じています。	今期不審者対応訓練を法人にて実施しましたので、次は事業所での実施を考えています。	年間計画に入れることで、意識を持って取り組んでいきます。事故・怪我発生時のフローチャートに則した実践練習も行っていきたいです。
2			